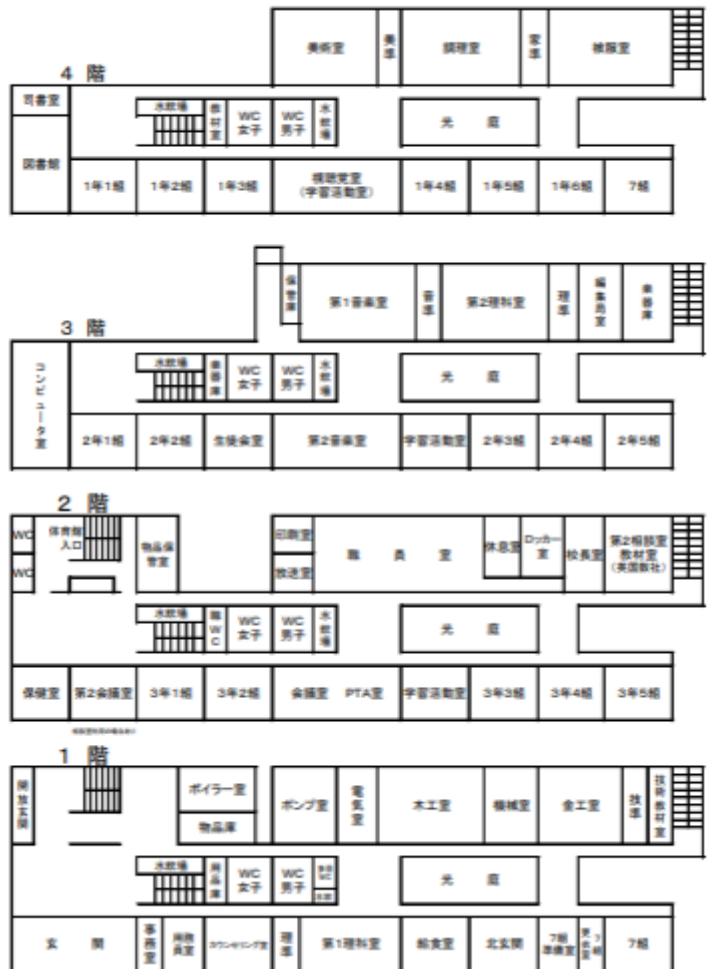


沿革小史

昭和57. 4. 1	仮称札幌市立宮の丘中学校開校事務 取扱発令 校長予定 岩井文雄 教頭予定 上杉正雄	10. 10. 24	全日本吹奏楽コンクール全国大会銀賞
11. 1	札幌市立宮の丘中学校設置 校長 岩井文雄 教頭 上杉正雄 新校舎竣工	11. 4. 1	本間良夫教頭 着任
12. 27	P.T.A設立総会	8. 21	体育館屋上・外壁改修
58. 3. 19	開校式、祝賀会	12. 4. 1	第7代 根津孝校長 着任
3. 26	教職員31名 生徒数739名、18学級 第1回入学式	8. 15	新体操部全国大会 出場
4. 7	開校記念日	9. 3	全日本吹奏楽コンクール全国大会銅賞
11. 1	第1回卒業証書授与式	13. 4. 1	小泉信嗣教頭 着任
59. 3. 15	相撲部全国大会 出場	8. 17	新体操部全国大会 出場
8. 22	三浦康徳教頭 着任	8. 21	水泳部全国大会 出場
61. 11. 1	第2代 池田正昭校長 着任	14. 2. 5	スキー部全国大会 出場
62. 4. 1	国際交流会（大韓民国、ノルウェー）	4. 1	第8代 勝谷友一校長 着任
7. 23	開校5周年記念式典	8. 21	新体操部全国大会 出場
10. 8	全日本アンサンブルコンクール銅賞	11. 1	開校20周年記念式典
63. 3. 30	国際交流会（中華人民共和国、シンガポール）	15. 2. 3	スキー全国大会 出場
7. 21	全日本アンサンブルコンクール銀賞	4. 1	佐藤善保教頭 着任
平成元. 3. 21	国際交流会（シンガポール）	8. 21	卓球部女子全国大会 出場
7. 21	スキー部全国大会 出場	11. 12	NHK邦楽一座がやってきた公開録音
2. 2. 3	手嶋啓峰教頭 着任	17. 3. 25	吹奏楽部管楽器個人コンクール全国大会 出場
3. 21	国際交流会（カナダ、大韓民国、タイ）	4. 1	第9代 小山建文校長 着任
4. 1	第3代 手嶋啓峰校長 着任	18. 4. 1	能登谷紀夫教頭 着任
7. 23	山谷巖教頭 着任	7. 21	吹奏楽部員がPMFオーケストラメンバーと合同合奏
3. 4. 1	スキー部全国大会 出場	19. 8.	卓球部中村杯札幌地区ダブルス優勝
4. 2. 3	全日本アンサンブルコンクール銀賞	20. 4. 1	第10代 谷孝俊校長 着任
3. 20	陸上部全国大会 出場	9. 4	全日本吹奏楽コンクール全道大会A編成金賞
8. 20	水泳部全国大会 出場	21. 4. 1	札幌市立宮の丘中学校 着任
10. 23	開校10周年記念式典	9. 5	全日本吹奏楽コンクール全道大会C編成銀賞
11. 1	スキー部全国大会 出場	22. 8.	水泳、新体操中体連全道大会 出場
5. 2. 3	全日本アンサンブルコンクール銀賞	9.	全日本吹奏楽コンクール全道大会C編成銀賞
4. 1	校舎増築竣工	23. 4. 1	第11代 小路徹校長 着任
12. 15	全日本アンサンブルコンクール銅賞	24. 4. 1	荒島晋教頭 着任
6. 3. 20	川浪浄和教頭 着任	10. 19	開校30周年式典・祝賀会
4. 1	第5代 山田功校長 着任	25. 4. 1	第12代 齋藤弘一校長 着任
8. 4. 1	バドミントン部女子全国大会 出場	26. 4. 1	吉本将樹教頭 着任
8. 2	久野栄次郎教頭 着任	27. 3. 6	格技場竣工
9. 4. 1	卓球部女子全国大会 出場	28. 4. 1	第13代 葛西孝之校長 着任
10. 4. 1	第6代 大脇信彦校長 着任	29. 4. 1	土屋裕志教頭 着任
		31. 4. 1	第14代 長内康志校長 着任
		令和3. 4. 1	中川幸治教頭 着任
		4. 4. 1	第15代 山田敏郎校長 着任
		5. 4. 1	細川直久教頭 着任
		6. 4. 1	第16代 細川直久校長 着任
		8. 4. 1	蒲谷貴史教頭 着任
			宮北弘樹教頭 着任

令和8年度 教室配置



校舎平面図



令和8年度

学校要覧



校歌

作詞 三平田 辰要雄
作曲 三平田 辰要雄

一 朝陽に映ゆる 手稻の峰
こだまする 歓喜の調べ
ああ 拓きし先人の 緑濃き大地
われらここに 漲る力もて
幸多き 未来を築かん

二 豊けく流るる 発寒の
せせらぎ清く 久遠の響
ああ 岸辺に集いし若き生命
われらまた 誓いあらたに
友情の あつき心を 育てん

三 見よ遠白き 宮の丘
雲湧き出でて 気は澄める
ああ 真理を求め 燃ゆる心
われらここに 眉をあげて
高き理想の道を究めん

作詞は、平田要先生によるもので、祖先の人々の開拓の精神を受け継いで文化の香り高く人間性豊かに、そして健康で気力のある人に育ってほしいという願いを込めて作詞されたものです。
作曲は、三島辰雄先生によるもので、格調高い堂々とした詩をたくましく表現し、宮の丘中学校の歴史とともに生きる生徒みんなの心の結びの歌として、歌い継がれることの願いを込めて作曲されました。

札幌市立宮の丘中学校

〒063-0033
札幌市西区西野3条10丁目9-1
TEL 662-6611 FAX 661-3571
<https://www.miyanooka-j.sapporo-c.ed.jp/>

学校教育目標

未来をひらく 人間性豊かな生徒の育成

1. 真実を見きわめ 豊かな創造性と 高い知性を養おう
2. なかまを大切にし 自然を守り 豊かな心を養おう
3. 心身の健康に気をつけ 正しいことを実行する力を養おう

めざす生徒像

自立と共生をめざし 心豊かに行動できる生徒

- ・自ら意欲的に学ぶ生徒
- ・頑張る仲間を支え合う生徒
- ・自分の思いや考えを行動で示すことができる生徒

学校経営の方針

人間性豊かに 自ら進んで未来を創造する力を育む

- (1) 個々の学びを深め、「自ら学ぶ意欲」を育てる。
- (2) 自他を認め合い、深く考え、「豊かな心」を育む。
- (3) 思いや考えを交流し、「行動で示す力」を養う。

学校教育推進の重点

(明るい挨拶で豊かな心を育む学校) (美しい歌声が響きあう学校) (創造的な活動を求め続ける学校)

1. 調和と統一ある教育課程の編成と実施
2. 共通理解に立った生徒指導と生徒支援
3. 「豊かな心」を育む指導の推進
4. 子ども一人一人の教育的ニーズに応じた支援・教育の推進
5. I C T機器の活用と危機管理意識
6. 教育環境の整備
7. 保護者・地域に信頼される学校教育の推進
8. 適正な予算執行と監査の推進
9. 教職員の意識改革の推進



教職員一覧

校長:細川 直久 教頭:宮北 弘樹

1 学年			2 学年			3 学年		
組	氏 名	教 科	組	氏 名	教 科	組	氏 名	教 科
1			1			1		
2			2			2		
3			3			3		
4			4			4		
5			5			5		
6								
7			7			7		
副担任			副担任			副担任		
養護教諭			スクールカウンセラー			拠点校指導教員		
事務職員			学校司書			ALT		
用 務 員			学びのサポーター 相談支援パートナー					
校務助手			学びのサポーター 相談支援パートナー					

父母と教師の会役員

顧問(校長)		事務局員	
会 長		会 計	
副 会 長		会計(教諭)	
副 会 長		会計監査	
副会長(教頭)		会計監査	
事務局長(教諭)			

学校評議員 (敬称略)

■校 名■

本校は母体校手稲東中学校から分かれ、昭和58年3月26日に開校しました。

本校が所在する丘陵に上手稲神社があり、通称宮丘とよばれていることと、丘陵一帯は市の「宮丘公園」となっていること、丘陵一角には手稲宮丘小学校が所在することから宮の丘中学校の名が付けました。

■校 章■

デザイン … 元札幌市立北栄中学校長 小林 暁 先生

中央の三角形は所在地の宮丘を表し、三つの矢を組み合わせて、生徒、保護者、教師の連帯と、教育目標の知恵、愛情、健康を表現し全体として雪の結晶を表現したものです。

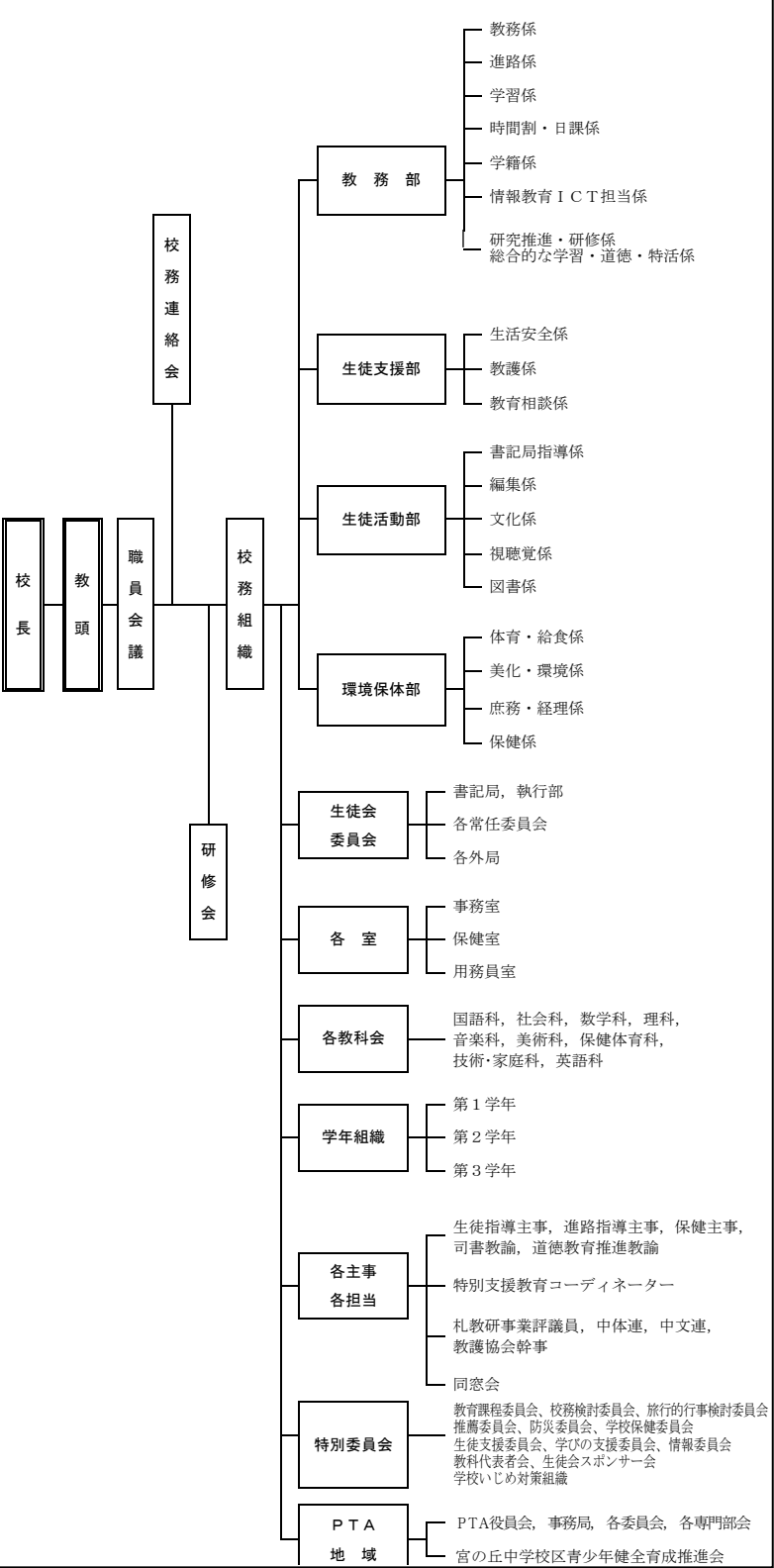
■通学区域■

西区 発寒6～8条14丁目
西野1条9丁目
西野2条9丁目～2条10丁目
西野3条7丁目～3条10丁目
西野4条7丁目～4条10丁目
西町南19丁目～南21丁目
西町北19・20丁目
西野290～293、306、319番地
宮の沢1条1丁目～1条5丁目
宮の沢2条1丁目～2条5丁目
宮の沢3条2丁目～3条5丁目
宮の沢4条3丁目～4条5丁目
手稲区西宮の沢5条1・2丁目
西宮の沢6条1・2丁目

■指定変更区域■

西区 西野5条7丁目～5条10丁目
手稲区 西宮の沢3条1丁目 (1番～8番)

校務組織



部活動振興会 (事務局：廣瀬・細田・鈴木・徳永・佐藤)

部	顧問	部	顧問	部	顧問
野 球		サッカー		駅 伝	
男子バスケットボール		女子バレーボール		女子ソフトテニス	
女子バスケットボール		吹 奏 楽		美 術	

個人参加種目	引率者	個人参加種目	引率者	個人参加種目	引率者
水 泳		体 操		剣 道	

研究主題

「自立と共生を基盤にした学びの環境づくり
- 自ら学び、他者と協力する力を育むための授業デザイン、学級経営等の研究 -」
《研究の内容と視点》

- ①自立を促す指導の工夫
 - ・見通しをもって学習に取り組めるようにする工夫
 - ・自分で考え、判断する場面を取り入れる工夫
- ②共生を促す学びの工夫
 - ・対話を通して学びを深める場面づくり
 - ・互いの考えを認め合える関係づくり

T T 及び少人数指導

英 語

数 学

※1、2年生の数学、英語の時間の一部で少人数指導を実施する。

総合的な学習の時間

『自立と共生をめざし、心豊かに行動
できる生徒』

- 1 学年「掴む」
…自ら課題を見つけ学ぶとともに、将来自分がどのような生き方をするのか考えることができる。
- 2 学年「試す」
…自ら課題を見つけ学ぶとともに、将来自分が社会に貢献するための生き方について考えることができる。
- 3 学年「深める」
…自ら課題を見つけ学ぶとともに、広い世界に目を向け自分の生き方に生かすことができる。

生徒数 (令和8年8月24日現在)

	学級数	生徒数
1 年	6	1 8 1
2 年	5	1 7 3
3 年	5	1 9 3
7 組	2	1 年 2
		2 年 3
		3 年 2
合計	1 8	5 5 4